

討議事項	1) 近況報告
	・東京オリンピックで「有機」が注目されておりPBブランドのペットボトル飲料でも対応を検討。
	・健康関連にはお金をかける人が増えてきているのでそれを念頭に模索していきたい。
	・一般景品に関するルールを徹底して本部でなく店舗が判断できる様にしていきたい。
	・コスト対策を店舗ごとではなく、全社一括で見直していきたい。
	・安価な端玉景品をその都度ではなくトータルのコストで比較すべき。
	・新電力導入後、既に2回導入先を変更して更にコスト削減を目指している。
	・労務改善を目指し親友社員の意識調査を実施、仕事ではなく余暇にやりがいを求めていることがわかり、現在労務を改正して社員満足度を上げようと努めている。
	・顔認証システムの新たな使い方を模索、
	・ホールコンピューターからの出力データのとりまとめ方法を検討中。
	・次回以降に新電力の導入結果報告を予定。
	2) コスト問題研究部会 質問コーナー「新聞への折り込みチラシについて」
	広報の為の新聞折り込みチラシについて、現在の正会員各社の状況をアンケートしその結果について情報を交換した。新聞折り込みチラシにかかるコストや効果の程を気にしつつもアンケート回答社の80%以上が新聞折り込みチラシを継続している。ただし、低貸し専用店舗で商圏が非常に狭いとか、お客に直接インタビューを実施してチラシを見てきているお客が少ないなど、いくつかの要因から削減方向に舵を切っているホール企業も半数ほど存在した。現在はインターネット経由の広告やDMが徐々にメインになってきており、新聞チラシも転換期を迎えているとの認識を共有した。
	3) 企業トピック 「店内装飾の内製化によるコストダウンのお勧め」
	担当 前川 竹志 部員 (株式会社インターコスモス)
	<販促PR動画 視聴>
	4つのキーワード
	1. 出力する プリンター
	2. 貼る ラミネート
	3. 切る カット
	4. 飾る ディスプレイ
	賛助会員株式会社インターコスモスより、店舗内外の装飾品を外注するより、機材を購入した上で内製化した方がコスト削減になると説明がされた。動画でPRされたプリンター、ラミネート、カット、ディスプレイそれぞれの商材と印刷する紙や布の特徴やコストなどを絡めて、専門職と比較しても遜色ないレベルで装飾が製作できることが説明された。質疑応答では、デザインチームのリードタイムや遊技台の著作権ものの取扱いなどについて質問がされた。
	次回開催
	平成29年5月11日 (木)
	午後1時～5時
	PCSA会議室